



社会福祉法人恩賜財団済生会支部 東京都済生会
東京都済生会中央病院 事務次長代理

まち だ よう じ
町田 洋治

1997 年 3 月 明治学院東村山高等学校 卒業
2001 年 3 月 明治学院大学経済学部経済学科 卒業

2001 年 3 月 明治学院大学経済学部経済学科 卒業

2001年4月	東京都済生会中央病院	入職
2015年10月	医事課、診療支援課	課長代理
2016年6月	診療録管理室、医療情報管理分析室、がん情報管理室	室長代理 室長代理
2017年4月	医事課、診療支援課	課長
2021年6月	造血細胞移植センター	センター長代理
2022年4月	事務部	次長代理
2022年12月	認知症疾患医療センター課長、患者支援センター長代理、国際連携室室長 患者相談室室長、がん医療相談室室長代理	

2022年12月 認知症疾患医療センター課長、患者支援センター長代理、国際連携室室長
患者相談室室長、がん医療相談室室長代理

2024年2月9日

医療関連サービス振興会 第33回シンポジウム

東京都済生会中央病院における SDGsとソーシャルインクルージョン



社会福祉法人恩賜財団済生会支部東京都済生会
東京都済生会中央病院
事務次長代理 町田洋治

TOKYO SAISEIKAI CENTRAL HOSPITAL All Rights Reserved

済生会の設立と沿革

(時代背景) 貧しい人たちが、病気になっても十分な医療が受けられない厳しい時代

明治44年 2月11日

明治天皇が、恵まれない人たちにも医療・福祉の手を差しのべるようにという趣旨の「済生勅語」を発せられ、お手元金150万円（現在の43億円に相当）を当時の内閣総理大臣桂太郎に下賜された

明治44年 5月30日 恩賜財団済生会の設立 現（第6代）総裁：秋篠宮皇嗣殿下

昭和26年 8月22日 公的医療機関に指定

昭和27年 5月22日 社会福祉法人に認可

40 都道府県に職員64,000人、病院82を擁する日本最大の社会福祉法人であり医療福祉団体である



TOKYO SAISEIKAI CENTRAL HOSPITAL All Rights Reserved

東京都済生会中央病院の沿革

- 大正 4年 本部直営の恩賜財団済生会芝病院として開設
- 昭和24年 乳児院開設
- 昭和25年 済生会の改組により東京都済生会に移管
「東京都済生会中央病院」に改称
- 昭和28年 東京都立民生病院の受託経営開始
- 昭和45年 主棟竣工
- 平成 3年 主棟増改築竣工（病室、手術室等改修）
- 平成14年 東京都立民生病院の廃止に伴い、85床を済生会中央病院の一部（N病棟）として機能継承
- 平成17年 新棟（北棟85床）稼働開始【第Ⅰ期計画】
- 平成20年 新外来棟稼働開始【第Ⅱ期計画】
- 平成27年 開院100周年
- 平成29年5月 新主棟稼働開始【第Ⅲ期計画】



初代院長 北里柴三郎



100周年記念誌 済中物語



TOKYO SAISEIKAI CENTRAL HOSPITAL All Rights Reserved

病院概要

名称	社会福祉法人 済生会支部東京都済生会 東京都済生会中央病院
病院種別	一般病院：許可病床数 535床：主棟465、北棟70（N3:30床、N4:40床）
規模	敷地面積 13,968㎡、延床面積 47,542㎡
診療科	内科10科（総合診療感染症内科・血液内科・腎臓内科・呼吸器内科・消化器内科 糖尿病内分泌内科・神経内科・腫瘍内科・循環器内科・リウマチ内科） 外科5科（一般消化器外科・乳腺外科・呼吸器外科・心臓血管外科・血管外科） 脳神経外科・脳血管内治療科・小児科・産婦人科・整形外科・形成外科 耳鼻咽喉科・眼科・皮膚科・泌尿器科・心療科・放射線科・放射線治療科・麻酔科 緩和ケア科・救急診療科・集中治療科・歯科・リハビリテーション科・病理診断科 臨床検査医学科
常勤職員数（令和5年4月1日現在）	1,297名（医師202、看護職員688、医療技術職員220、事務職員ほか187）
指定ほか	公的医療機関、救命救急センター、地域医療支援病院DPC対象病院（標準病院群） 臨床研修指定病院、急性期一般入院基本料1（7対1看護配置）など



TOKYO SAISEIKAI CENTRAL HOSPITAL All Rights Reserved

病院の理念と基本方針（平成20年7月改訂）

【理念】

「済生の精神」に基づいた思いやりのある保健・医療・福祉サービスの提供を通じて社会に貢献します

（「済生の精神」とは、分け隔てなくあらゆる人々に医療・福祉の手を差しのべることです）

【基本方針】

1. 地域の中核病院として、医療機関、福祉施設等との連携を密にします
2. 個人の権利を尊重し、相互信頼に基づいた医療を提供します
3. 職員が働きがいとプライドを持って、質の高いチーム医療を提供します
4. 医療従事者としての教育と臨床医学の発展に貢献します
5. 保健・医療・福祉に恵まれない人々への支援に取り組みます



TOKYO SAISEIKAI CENTRAL HOSPITAL All Rights Reserved

当院の7つのテーマ

1. 救う：高度急性期医療
高機能総合病院（総合入院体制加算2）、救命救急センター、最新鋭手術室＋集中治療室、東京都がん診療連携拠点病院、東京都CCUネットワーク、東京都脳卒中急性期医療機関
2. つなぐ：地域医療と医療連携
地域医療支援病院、東京都災害拠点病院、病診連携と病病連携、医療介護福祉連携
認知症疾患医療センター、訪問看護ステーション（支部運営）
3. 支える：社会貢献
ホームレス専用病棟、付属乳児院（定員35名）、生活困窮者支援事業（なでしこプラン）
4. 迎える：国際化の推進
外国人患者受入れ医療機関（JMIP）認証、Japan International Hospitals（JIH）認証
5. 導く：予防医療
総合健診センター、生活習慣病重症化予防プログラム、糖尿病教育入院
6. 磨く：人材育成
人材育成センター（臨床研修室、看護キャリア開発室）、臨床研修指定病院、
卒後臨床研修評価機構（JCEP）認定、看護師特定行為研修施設
7. 応える：医療の質とサービスの向上
患者支援センター、クリニカルクオリティセンター（CQC）、医療安全対策センター
感染防御センター、日本医療機能評価機構認定



TOKYO SAISEIKAI CENTRAL HOSPITAL All Rights Reserved

当院の社会貢献への取り組み

1. 付属乳児院の併設（昭和24年～）

被虐乳児で医療的ケアの必要な児の依頼が多い
定員35名、東京都からの措置費によって運営
平成31年3月から建て替え工事着工
小人数単位の養育体制、家庭支援、里親支援の強化

2. ホームレス専用病棟（N4病棟）の運営（昭和28年～）

東京都立民生病院の機能を継承したN4病棟（現43床）
一般医療機関で受入れ困難なホームレス等の要保護者のための入院医療受入れ後に生活保護を申請、医療費は生保の医療扶助で支払われる
社会福祉法人として無料低額診療事業（10%以上）の対象

3. 都内の更生保護施設や自立支援センター等への医療支援

済生会全体の生活困窮者支援事業（なでしこプラン）の一環
当院では更生保護施設「斎修館」への訪問予防接種など



TOKYO SAISEIKAI CENTRAL HOSPITAL All Rights Reserved

新ビジョン SAICHU 2024（2020～2024）

～新しい100年に向かって 日本一の病院力をめざして～

1. 病院力強化のため、済中ブランドを発信します
2. 新しい病院の在り方を考えます
3. 【済生の精神】に基づき、永続的に社会に貢献します
4. 安定した経営基盤を確立します
5. 地域の医療・福祉との連携を推進します
6. 職員満足度のための病院作りをめざします
7. 安全かつ質の高い医療を追求します
8. ホスピタリティマインドに基づく患者サービスを実践します
9. 医療情報システムを有効活用します
10. 教育研修制度を充実させます



TOKYO SAISEIKAI CENTRAL HOSPITAL All Rights Reserved

生活困窮者支援事業 なでしこプラン

済生会は生活困窮者を支援する事業「なでしこプラン」を実施しています。ホームレスや家庭内暴力（DV）被害者、刑務所出所者、障害者、高齢者、在留外国人等で、医療・福祉サービスにアクセスできない人たちを対象に巡回健診、予防接種、健康相談等を行うものです。

本会は、生活困窮者を医療で救済する「施薬救療」を目的に発足しました。その目的を果たす制度が、生活保護受給者をはじめとして低所得者の医療費を免除または減額する「無料低額診療（無低）事業」で、本会は医療施設を中心に広く展開しています。しかし、現実には、こうした社会保障制度の対象とならない人、例えばホームレスや所得が基準より少しだけ多くて生活保護の対象にならない人、あるいは少額の国民年金だけで生活しているお年寄り、着の身着のまま避難したDV被害者、更生保護施設で社会への復帰を目指している人等もたくさんいます。社会経済環境の変化に伴い、経済的困窮や社会的孤立などが深刻化しているのです。

そこで、無低事業の対象者より広く、医療・福祉サービスにアクセスできない人々を支援しようとスタートしたのが、本会の紋章を冠した「なでしこプラン」事業です。平成22～24年度の3年間で、延べ316,207人を対象に無料で健康診断やインフルエンザワクチンの接種等を行いました。

平成25年度から29年度までの「第二次なでしこプラン」は延べ75万人への支援を実施。平成30年度から令和4年度までの「第三次なでしこプラン」では就労や教育等の支援活動にも取り組み、延べ87万人を支援しました。

また、「なでしこプラン」を計画的・積極的に推進するため、生活困窮者支援事業優良事業の顕彰やシンポジウムを開催しています。

このように、済生会は時代の要請に合わせながら、創立の理念を実現し続けています。



TOKYO SAISEIKAI CENTRAL HOSPITAL All Rights Reserved



東京都済生会中央病院なでしこプラン

なでしこプラン（5事業6計画）

名 称	計 画	戦 略
1.更生保護施設入所者支援事業	①保護観察所、更生保護施設の入所者を対象に当院にて診療を行う。	なでしこプランの実行、無料低額診療の推進。
	②保護観察所、更生保護施設の入所者を対象にインフルエンザワクチン等の予防接種を行う。	なでしこプランの実行、無料低額診療の推進。
2.難民支援事業	③難民申請をしている外国人を対象に当院にて診療を行う。	なでしこプランの実行、無料低額診療の推進。
3.山谷越年対策事業	④山谷地域の傷病者等を対象に医療支援（病床確保）を行う。	なでしこプランの実行、無料低額診療の推進。
4.ホームレス医療提供事業	⑤都内のホームレスを対象に専用病棟にて診療を行う。	なでしこプランの実行、無料低額診療の推進。
5.在日外国人支援事業	⑥済生会関東ブロックのMSWが中心となり、在日外国人の健康診断・医療相談を行う。	なでしこプランの実行、無料低額診療の推進。



TOKYO SAISEIKAI CENTRAL HOSPITAL All Rights Reserved

SDGsと済生会 ～ソーシャルインクルージョンが拓く明日～



<https://www.saiseikai.or.jp/001cms/wp-content/uploads/2019/09/61b958cd423435cb27ade894d9ffc5e4.pdf>
「SDGsと済生会」より

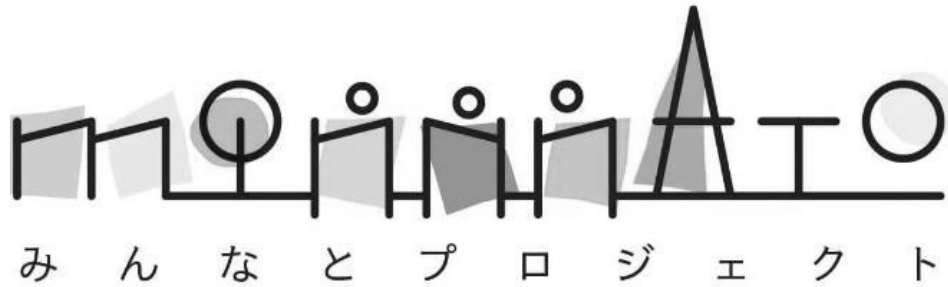


TOKYO SAISEIKAI CENTRAL HOSPITAL All Rights Reserved

東京都済生会中央病院ソーシャルインクルージョン 7事業9計画

名 称	計 画	戦 略
1.患者向けサロン	①患者や地域住民に当院の医療や取組等を知ってもらうための情報を発信する。	当院の医療情報や取組等を知ってもらうための情報コーナーをリニューアルし、情報のブラッシュアップ、発信方法等を継続的に検討し集患につなげていく。
2.認知症サロン・支援	②認知症の人や認知症予防に感心がある人を対象院内・院外（オレンジカフェ）にて医師を派遣し講演を行う。	当院の医療情報や取組等を知ってもらうための情報を発信し、集患につなげていく。
3.職業体験	③地域の中学校の学生を対象に職業体験の受入れを行う。	当院の看護業務を通して将来の看護師の担い手を増やしていく。
4.みんなとプロジェクト	④地産のほちみつを活用し、地域の活性化につなげていく。	地域まちづくりへの寄与及び健全な社会生活と健康づくりへの貢献。
5.健康講座・セミナー	⑤地域住民向けに健康セミナーを定期的に開催し健康に関する関心を高め、予防につなげていく。	多様な住宅を管理運営するJKK東京と連携し、地域住民の健康相談に応じると共に、当院の医療情報や取組等を知ってもらうための情報を発信し、集患につなげていく。
6.災害に関する情報の発信	⑥地域住民向けに災害に関するセミナーを定期的に開催し災害時に適切な対応の情報を発信していく。	地域住民との交流機会を増やし、当院の認知度向上に繋げていく。地域住民への災害時対応の情報提供。
7.障害者支援	⑦障害者が描くアートの展示会を定期的に開催する。 ⑧就労継続支援B型作業所による院内カフェの展開。 ⑨視覚障害者や聴覚障害者に最先端技術のアプリ（ナビレンス）を提供し、受診し易い環境の整備を行う。	障害者アートの素晴らしさを伝えていくことによる福祉の増進と人権の擁護に寄与していく。 インクルーシブ社会の推進における共生、協働機会の創出。 障害者の方が受診し易い医療機関として周知し、福祉の増進と集患につなげる。

みんなとプロジェクト



「みんなとプロジェクト」とは、東京都済生会中央病院、株式会社文化放送、株式会社オルト都市環境研究所が共同で推進する地域版SDGs事業です。港区で採れたものを地域の力でカタチにし、楽しむことで地域の恵みや多様な個性をつなぎ、循環させることを目指しています。具体的な取り組みとして、芝地区総合支所協働推進課が運営している「芝Bee Bee'sプロジェクト」の養蜂活動で採れたハチミツを使い、港区内の福祉作業所でマドレーヌを作り、港区民のみなさんに楽しんで食していただくことで、当院はこれからも地域のインフラとして医療だけではなく、区民のみなさんと豊かなまちづくりを実践していきます。



TOKYO SAISEIKAI CENTRAL HOSPITAL All Rights Reserved

みんなとプロジェクト

これまで当院が取り組んできた社会貢献活動

- 更生保護施設入所者への保健・診療活動
- 難民申請中の外国人への診療活動
- 山谷地域の生活困窮者の方々への医療支援活動
- 患者および家族への情報サロンの運営
- ダイバーシティカップへの救護班ボランティア協力 など

強みとする医療・保健活動を中心とした活動



「医療・福祉の周辺分野への取り組み」
「まちづくりへの寄与」及びSDGsの目標達成へ



みんなとプロジェクト

港区の「まちづくり事業」としての養蜂活動（会の名称：BeeBee's）に着目

【背景】

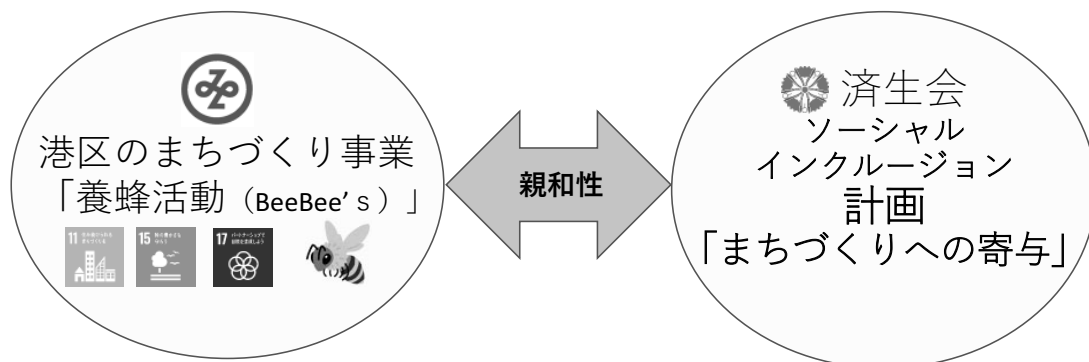
フェアテーマ：「地域と共に考える健康と防災のまちづくり」

当時我々は、済生会フェア開催を企画中だった。地域住民や活動する団体の方々へフェアの参加を呼び掛け、行政にも後援に入ってもらい、コラボレーション企画を生み出したいと、地域の方々とのつながりを作る目的で、2019年から養蜂活動への参加が始まった。



みんなとプロジェクト

活動は新たな展開へ・・・



まちの活性化に向けて、
「みんなで事業を展開していくスキームをつくる！」

みんなとプロジェクト

Local Inclusion 〈地域版SDGs  プロジェクト〉

「みんなとプロジェクト」について

港区で採り、つくり、楽しむ！

地域で採れたハチミツを地域の事業者、学校、区民の力を活用して巡らせることで、地域の多様な個性のつながりを生み出し、健全な社会生活と健康づくりに貢献することを目指しています。

どんなことをするのか？

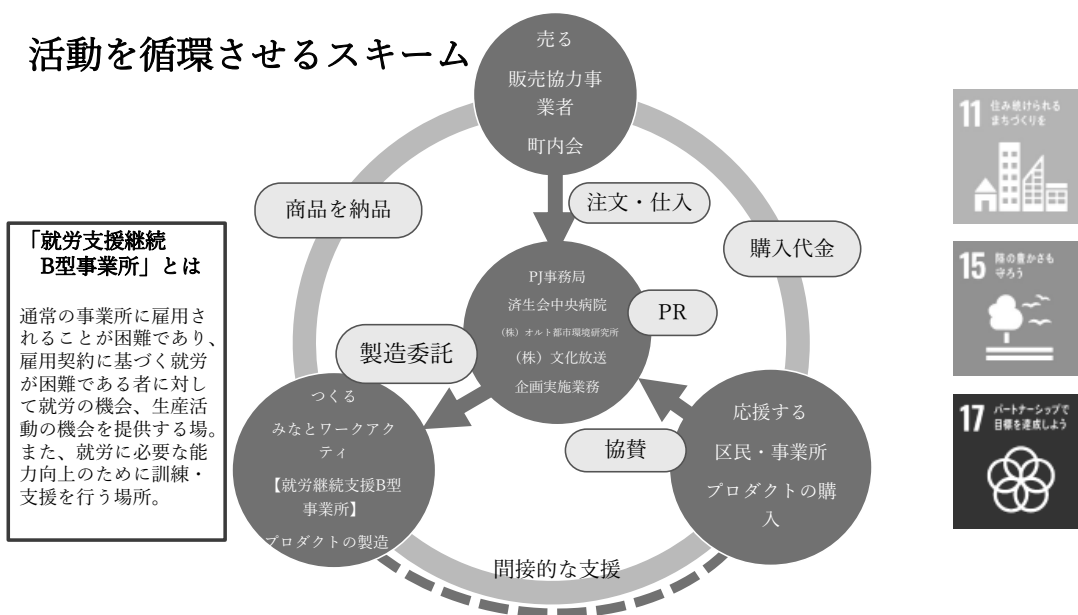
当院がプロモートして、しばみつ（自然の恵み）、福祉作業所（製造）事業所（販売）をつなぎ『しばみつマドレーヌ』を作ります。それを町の人たちに食べてもらうことを通して、港区の中に「ひと・まち・自然」という楽しむ循環を作り出します。



TOKYO SAISEIKAI CENTRAL HOSPITAL All Rights Reserved

みんなとプロジェクト

活動を循環させるスキーム



TOKYO SAISEIKAI CENTRAL HOSPITAL All Rights Reserved

みんなとプロジェクト

各主体の特徴と想定されるプロジェクトにおける役割

主体	位置づけ	社会貢献に関する理念	プロジェクトにおける役割
東京都済生会中央病院	地域の中核病院	済生の精神に基づき、永続的に社会に貢献	プロジェクトの主催
株式会社オルト都市環境研究所	地域まちづくり団体	「ひと・まち・自然」が つながった持続可能な 地域の実現	企画立案 芝BB'sプロジェクトの連携 関係主体との調整 その他、事業実施にかかる作業
株式会社文化放送	AMラジオ放送局	地元の皆様や各企業・団体の皆様と浜松町の活性化への貢献（浜祭り）	番組・イベントを通じた広報 地域の事業者の紹介
みなとワークアクティ	福祉作業所 (就労継続支援B型事業所)	就労の促進により働きがいを生み出す	お菓子の製造・梱包
港区芝支所	行政機関	誰もが住みやすく地域に愛着と誇りを持てるまちづくり	ハチミツの提供



TOKYO SAISEIKAI CENTRAL HOSPITAL All Rights Reserved

健康セミナー（JKK東京との連携）

JKK東京（東京都住宅供給公社）は、地方住宅供給公社法に基づき東京都が全額出資して設立した特別法人であり、都が指定した東京都政策連携団体です。
東京都の住宅政策を推進するパートナーとして、都民のくらしをサポートし、都政の重要課題の解決に積極的に取り組むことにより、お客さまや社会から信頼され安心してお住まいいただけるよう、全社一丸となって取り組んでいます。

JKK東京が取り扱う住宅は、JKK住宅（公社住宅）・公営住宅・高齢者向け住宅等です。

JKK住宅（公社住宅）

JKK東京が建設・管理する賃貸住宅で、単身者向けからファミリー向けまで幅広いタイプの物件が揃っています。
現在、東京都にお住まいでない方の入居も可能です。

JKK住宅の魅力

住宅を探す

公営住宅

都内在住で住宅に困っている方のためのセーフティネットとして、低廉な家賃で賃貸する公共住宅。

高齢者向け住宅

生活サポートや見守り、必要に応じて介護等の支援を提供する高齢者向けの住まい。

賃貸駐車場

住宅の近隣にお住まいの方やお勤めの方を対象とした月極駐車場。

店舗

入居者の生活利便施設としての店舗用賃貸物件。

<https://www.to-kousva.or.jp/>
JKK東京HPより

All Rights Reserved

健康セミナー（JKK東京との連携）

JKK東京の少子高齢社会への取組

令和3年4月

JKK東京は、平成23年3月に「少子高齢対策事業の方針」を策定し、国や東京都及び関係自治体等との連携のもと、子育て世帯や高齢者にとって安全・安心で魅力的な住まいの提供に努めております。この度、子育て世帯や高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる新たな住まいづくりや、サポート制度などを紹介する特設ページ「JKK♥コソダテ」「JKK東京の高齢者支援」を作成しました。

各ページへは、下記よりご覧いただけます。



JKK♥コソダテ 特設ページはこちら



JKK東京の高齢者支援 特設ページはこちら

https://www.to-kousya.or.jp/corporate/population_aging.html
JKK東京HPより

公社情報

公社概要

経営理念

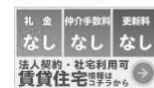
事業概要

経営情報等

個人情報の保護

情報公開制度

当社の取組



TOKYO SAISEIKAI CENTRAL HOSPITAL All Rights Reserved

健康セミナー（JKK東京との連携）

「少子高齢対策事業の方針」の策定について

平成23年3月

東京都住宅供給公社では、高齢者や子育て世帯が住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる新たな住まいづくりの方向性を示した「少子高齢対策事業の方針～高齢者や子育て世帯が安心して暮らせる住まいづくり～」を策定しました。

今後はこの方針に基づいて、国や東京都及び関係自治体等との連携のもと、高齢者や子育て世帯にとって安全・安心で魅力的な住まいの提供に努めてまいります。



<https://www.to-kousya.or.jp/action/senior-support6.html>
JKK東京HPより

当社の取組

多様化するニーズへの取組

安全・安心の取組

再編整備計画

地域・コミュニティ支援

環境配慮の取組



TOKYO SAISEIKAI CENTRAL HOSPITAL All Rights Reserved

健康セミナー（JKK東京との連携）

令和5年5月18日（木）
済生会本部にて協定締結式を開催



報道発表資料
令和5年5月19日
東京都住宅供給公社
社会福祉法人 恩賜財団
済生会支部 東京都済生会

【JKK東京×社会福祉法人恩賜財団済生会支部東京都済生会】が包括連携協定を締結 JKK住宅や地域にお住まいの方の安全・安心な生活を実現するために

JKK東京（東京都住宅供給公社：東京都渋谷区、理事長：中井敬三、以下「JKK」）と社会福祉法人恩賜財団済生会支部東京都済生会（支部長：杉村栄一、以下「済生会支部東京都済生会」）は、JKK住宅[※]やその地域にお住まいの方の健康で安全・安心な生活の実現を図ることを目的とした包括連携協定を、令和5年5月18日に締結しました。

[※]JKKが建設・管理する一般賃貸住宅

本協定に基づき、JKK住宅のコミュニティサロン（集会所）を活用し、済生会支部東京都済生会が提供する保健・医療・福祉に関する講習や相談会などの「ソーシャルインクルージョン活動」を展開することにより、子どもから高齢者まで多様な世帯の健康で安全・安心な生活の実現を目指し、コミュニティ形成に貢献していきます。



左から、向島病院院長 塚田信廣氏、中央病院院長 海老原全氏、済生会支部東京都済生会支部長 杉村栄一氏、JKK東京 理事長 中井敬三、理事 千葉裕、管理改善・コミュニティ担当部長 戸松健

健康セミナー（JKK東京との連携）

JKK住宅 ⑧ 法人 法人連名 法人連名

トミンタワー台場一番街 東京都港区台場1-3-2 地下鉄有明線「お台場海浜公園」駅下車徒歩5分
※有明線有明駅南口徒歩10分（東京テレポート）駅下車徒歩13分

所在地：港区台場1-3-2
築年月：2009年2月
管理戸数：310戸
棟数：1棟
構造：鉄骨コンクリート造/32階
専有面積：約4,800㎡/月
敷金：家賃の2ヶ月分
礼金：191万
駐車場：24,000～31,000円/月
駐車場数：駐車場使用料の2ヶ月分
駐車場構造：平面式地下・機械式
バイク専用：50台
月々料：3,300円/月
バイク専用：バイク専用使用料の2ヶ月分

※1階は店舗・事務所・住居の複合利用が可能。2階は店舗・事務所・住居の複合利用が可能。3階は店舗・事務所・住居の複合利用が可能。4階は店舗・事務所・住居の複合利用が可能。5階は店舗・事務所・住居の複合利用が可能。6階は店舗・事務所・住居の複合利用が可能。7階は店舗・事務所・住居の複合利用が可能。8階は店舗・事務所・住居の複合利用が可能。9階は店舗・事務所・住居の複合利用が可能。10階は店舗・事務所・住居の複合利用が可能。11階は店舗・事務所・住居の複合利用が可能。12階は店舗・事務所・住居の複合利用が可能。13階は店舗・事務所・住居の複合利用が可能。14階は店舗・事務所・住居の複合利用が可能。15階は店舗・事務所・住居の複合利用が可能。16階は店舗・事務所・住居の複合利用が可能。17階は店舗・事務所・住居の複合利用が可能。18階は店舗・事務所・住居の複合利用が可能。19階は店舗・事務所・住居の複合利用が可能。20階は店舗・事務所・住居の複合利用が可能。21階は店舗・事務所・住居の複合利用が可能。22階は店舗・事務所・住居の複合利用が可能。23階は店舗・事務所・住居の複合利用が可能。24階は店舗・事務所・住居の複合利用が可能。25階は店舗・事務所・住居の複合利用が可能。26階は店舗・事務所・住居の複合利用が可能。27階は店舗・事務所・住居の複合利用が可能。28階は店舗・事務所・住居の複合利用が可能。29階は店舗・事務所・住居の複合利用が可能。30階は店舗・事務所・住居の複合利用が可能。31階は店舗・事務所・住居の複合利用が可能。32階は店舗・事務所・住居の複合利用が可能。

V1 2DK (5P) 55.07㎡
家賃：120,100～125,900円
※中央区分：A5411

V2 2DK (5P) 59.09㎡
家賃：133,800～138,000円
※中央区分：A5411

V3 2DK (5P) 61.05㎡
家賃：130,400～134,600円
※中央区分：A5411

I1 2LDK (1P) 62.35㎡
家賃：140,400円
※中央区分：A5412

※2階はバスターの形状が異なります。
※2階はバスターの形状が異なります。
※2階はバスターの形状が異なります。
※2階はバスターの形状が異なります。

お子さんのお腹の悩み 解決します

★お腹のお悩み講演（約40分）
東京都済生会中央病院小児科医

★小児科医による個別相談
（お子さんの成長・健康状態・生活習慣に関することなど）

日時：6月17日（土）午後2時～午後4時
（受付：午後1時30分～）

場所：トミンハイム台場五番街
コミュニティサロン（集会所）

対象：赤ちゃんから高校生までのお子さんが
いる保護者の方 ※お子さんの同伴は可能ですが、
託児サービスのご用意はありません

定員：30名（事前申込制）

参加費：無料

お申し込みはこちらから→



東京都済生会中央病院
TOKYO SAISEIKAI CENTRAL HOSPITAL

ひとと、くらしをあったかく。
JKK東京

健康セミナー（JKK東京との連携）

JKK住宅 75 法人 法人運営 クラスター
コーシャハイム臨海町二丁目

所在地：江戸川区臨海町2-2-3はか
築年：1989年1月
管理戸数：205戸
階：3階
構造：鉄骨鉄筋コンクリート造
11.14階
共 費：3,300円/月
敷 金：家賃の2ヶ月分
駐 車 場：147台
駐車場料：15,000～20,500円/月
駐車場：駐車場使用料の2ヶ月分
駐車場：平面式・自走式

2LDK(94㎡) 57.38㎡ 2LDK(94㎡) 57.38㎡ 2LDK(94㎡) 57.38㎡
2LDK(94㎡) 57.38㎡ 2LDK(94㎡) 57.38㎡ 2LDK(94㎡) 57.38㎡
3DK(94㎡) 59.88㎡ 3DK(94㎡) 59.88㎡ 3DK(94㎡) 59.88㎡
3DK(94㎡) 59.88㎡ 3DK(94㎡) 59.88㎡ 3DK(94㎡) 59.88㎡

江 戸 川 区

認知症・フレイル予防

～おいしく、楽しく健康長寿！！～

<講演・簡単な体操・個別相談会>

日時：**6月29日(木)**
午前10時～12時

講師：東京都済生会向島病院

<理学療法士・管理栄養士・認知症認定看護師>

場所：コーシャハイム臨海町二丁目
集会所（コミュニティサロン）
定員：25名
対象：65歳以上
持ち物：飲みもの
申込み：管理事務所（03-3804-1789）まで

主催：JKK東京 共催：東京都済生会向島病院
協力：コーシャハイム臨海町二丁目自治会

健康セミナー（JKK東京との連携）

ひととをよりよくつなぐ
JKK東京 社会福祉法人 恩賜財団
済生会支部 東京都済生会

開催発表資料
令和5年7月13日
東京都住宅供給公社
社会福祉法人 恩賜財団
済生会支部 東京都済生会

【開催報告】連携活動第1弾！
子育て世帯や高齢者を対象としたソーシャルインクルージョン活動を展開

JKK東京（東京都住宅供給公社：東京都済生会、理事長：中井敬三、以下「JKK」と）と社会福祉法人恩賜財団済生会支部東京都済生会（支部長：杉村栄一、以下「済生会支部東京都済生会」）は、港区と江戸川区のJKK住宅において、お住まいの方々や周辺地域の方々を対象として、小児科医によるお子さんの悩みに関する講演会・相談会と、理学療法士等による認知症・フレイル予防の講演会・体操を実施しました。



椅子に座ったままできるフレイル予防の体操

■イベントレポート

（1）東京都済生会中央病院による講演会と相談会

港区のトミンハイム台増五番街で令和5年6月17日（土曜日）に、東京都済生会中央病院の小児科医が「お子さんの健康の悩みを解決します」と題した講演会を開催しました。講演会では、お腹の不調は、食生活とのつながりだけでなく、生活習慣が大きく関わっているという話に、参加者は大きく頷いていました。

また、講演終了後に開催した個別相談会では子育ての様々な悩みの相談ができ、参加者の方からは「医師が話しやすく、ざっばらに話ができよかった」「子どもと一緒に話を聞いて、親の伝えることは耳を傾けないが、医師の講演が心に響いた様子だった」といった声がありました。



小児科医による個別相談会の様子



お子さんと一緒に相談する参加者

（2）東京都済生会向島病院の理学療法士等による講演会と体操

江戸川区のコーシャハイム臨海町二丁目（木曜日）に、東京都済生会向島病院の理学療法士、管理栄養士、認知症看護認定看護師が「認知症・フレイル予防」の講演会を開催しました。参加された方からは、「講演で聞いた話で自分が実践できていること、まだまだやれることがあるということだったので工夫していきたい」という声や、講演後の個別相談に参加された方からは「腰痛軽減のための自宅できるストレッチを覚えてもらってよかった」という声がありました。



メモを取りながら真剣に聴き入る参加者



フレイル予防の体操

■イベント開催の背景

JKK住宅では、入居者の高齢化や単身世帯の増加等によりコミュニティ機能が低下しており、さらにコロナ禍による人との接触機会が減少したことによる入居者同士や地域とのつながりの希薄化が課題となっています。

一方、済生会支部東京都済生会は、あらゆる人々に分け隔てなく手を差し伸べる「済生の精神」のもと、保健・医療・福祉サービスの提供を通じた社会貢献に取り組んでいます。

JKKと済生会支部東京都済生会は、令和5年5月に締結した包括連携協定に基づき、運営病院である東京都済生会中央病院（港区）と東京都済生会向島病院（墨田区）の医師等による高齢者や子育て支援等に関する講習等の「ソーシャルインクルージョン活動」を展開し、当該病院近隣エリアの地域活性化を目指します。

JKKは、今後もJKK住宅にお住まいの方々やその地域の方々との健康で安全・安心な生活の実現に取り組んでまいります。

○包括連携協定締結に関する過去のリリースはこちら

【JKK東京×社会福祉法人恩賜財団済生会支部東京都済生会】が包括連携協定を締結 JKK住宅や地域にお住まいの方の安全・安心な生活を実現するために（令和5年5月19日）
https://www.to-kousya.or.jp/k-news/r5_5_19press.html

Instagram(インスタグラム)始めました！

<じらの旅>「ユトジラ（JKK東京のイメージキャラクター）」が、JKK住宅の周辺をお散歩します。
【公式】JKK東京（東京都住宅供給公社）
#jkktoyo_official

YouTube公式チャンネルにて公開中！

父娘の新しい一歩を支える JKK東京のショートストーリー
YouTube公式チャンネルにて公開中！
<https://youtu.be/pv0rZdJp9U>

健康セミナー（JKK東京との連携）

東京都済生会向島病院による
**認知症予防講座&体操
個別相談会**

参加無料
先着20名

事前申込み制

日時：11月30日(木)10時～正午
(受付9時45分～)

場所：南千住四丁目アパート集会所

講師：東京都済生会向島病院
認知症看護認定看護師、理学療法士、管理栄養士

対象：どなたでも参加可能

申込み：☎ 03-6712-5825 <公社管理課公社管理係>



共催：東京都済生会向島病院、東京都住宅政策本部、JKK東京
協力：南千住四丁目アパート自治会

東京都済生会中央病院による
認知症の治療いろいろ
みなさんで昭和を語らいませんか？
～回想法で活力を～

個別相談会も行います！

参加無料
事前申込み制
先着25名

日時：12月8日(金)
10時～12時
(受付：9時45分～)

場所：大森東一丁目
アパート
集会所

講師：東京都済生会中央病院
脳神経内科医師
認知症看護認定看護師

対象：都営住宅、公社住宅、
近隣地域にお住まいの方

申込み：☎ 03-6712-5825 <公社管理課公社管理係>



共催：東京都済生会中央病院、東京都住宅政策本部、JKK東京
協力：大森東一丁目アパート自治会

障害者アートの展示会 虹のアート展

「誰一人取り残さない」まちづくりを目指すソーシャルインクルージョン活動の一つ



NPO法人 虹色の風とタイアップ

法人・団体名称	虹色の風 (認定)
法人・団体名称カナ	ニジイロノカゼ
主たる事務所の所在地	東京都港区三田二丁目21番9号
従たる事務所の所在地	
代表者氏名	平山 淳子
定款に記載された目的	この法人は、広く一般市民及び市民団体を対象として、自閉症児・者やその家族を社会全体で支える事によって、自閉症児・者やその家族が幸せに生活できる豊かな社会を実現する為に自閉症児・者の療育に関する事業、自閉症に対する正確な情報の啓発に関する事業等を積極的に行うことにより、福祉の増進と人権の擁護に寄与することを目的とする。
活動分野	■ 保健・医療・福祉 ■ 学術・文化・芸術・スポーツ ■ 人権擁護・平和 ■ 子どもの健全育成 ■ 機能開発・雇用拡充 ■ NPO支援

虹のアート展

虹のアート展のテーマは「季節」。病院の外に出ることができない人たちに、アートを通して「今は春なんだ」「クリスマスだな」といった季節を感じてもらいたいと企画が進められました。コロナ禍でのスタートということもあって、初開催の2022年冬は作品数8点と小規模開催だったものの、二度目となる2023年春は、20点の作品を展示。冬は赤、春は黄色と、季節ごとのカラーに沿った色彩豊かな作品が病院の一角に並びました。



作品の管理や設置は院内の患者サービス委員会の職員が担当。毎日絵に触れる中で『これ、いいね』『私はこれが好き』と職員間のコミュニケーションが生まれたそうです。

<https://www.socialinclusion.saiseikai.or.jp/reports/arekore-05>
「済生会」より



「絵画を見るためにだけに病院に足を運んでもらえるのもうれしいです」と佐藤さん。第3回は7月24日から開催。ぜひ足をお運びください。

『最後の晩餐』作者：mifuyu(特定非営利活動法人たいらか)



TOKYO SAISEIKAI CENTRAL HOSPITAL All Rights Reserved

虹のアート展

ソーシャルインクルージョン
を考えるWebメディア＜ジントク＞

特定非営利活動法人
内閣府認定NPO法人
済生会
Tokyo Saiseikai Central Hospital

第5回ソーシャルインクルージョンアワード
内閣府大臣賞受賞

文字サイズ

大 中 小

ソーシャルインクルージョンとは 特集 事典 インタビュー レポート アレコレ 1696の決意 寄付について



まちのあちこちにある
ソーシャルインクルージョンな
場所・モノ・コトをピックアップ

特定非営利活動法人 虹色の風×
済生会中央病院

2023.07.24



05

“障害者アート”の枠に閉じ込めない、“生きる証”を伝えるアート
病院が発信基地となる「虹のアート展」

「アートが好きなのにたまに障害があっただけ」——障害者を対象にしたアート教室や展覧会の企画などを手がける特定非営利活動法人「虹色の風」の平山淳子さんは話します。「障害者アート」という枠組みを超え、時にダイナミックに、時に緻密に描かれた色彩豊かな作品たち。そんなすてきなアートたちに出会える場所が身近にあるのをご存じでしょうか。東京都港区の済生会中央病院。病院の一角でこれまで二度にわたって開催された「虹のアート展」は“絵からパワーをもらえ”と多くの反響が寄せられました。アート展の魅力や7月からスタートしている夏の展覧会の見どころを平山さんと中央病院広報室長 佐藤弘恵さんに伺いました。

<https://www.socialinclusion.saiseikai.or.jp/reports/arekore-05>
「済生会」より



TOKYO SAISEIKAI CENTRAL HOSPITAL All Rights Reserved

虹のアート展（春）

たった一枚の絵や
ささやかな飾りでも、
誰かが寄り添うことで、
世界を平和にできるかもしれません。
すべての命を繋ぐ虹になり、
皆さまの幸せと世界の平和を願います。
この小さなアート展が、
皆さまに豊かな時間と空間を
お届けできますように！

**虹の
アート展**

2023
3/18-4/14

平日：9:00-17:00 第1・3土曜：9:00-12:00
日曜、祝日、第2・4土曜：お休み
**東京都済生会
中央病院**
東京都港区三田1-4-17
〒108-8501 東京都港区三田1-4-17
多北館2F 健康情報コーナー

春風物語

※感染防止対策のため、館内ではマスクの着用と手洗いをお願いします。
※お問い合わせ：TEL 03-3451-8086（受付時間：平日9:00-17:00、土曜9:00-12:00）※お問い合わせ先：東京都済生会中央病院 健康増進・特定非営利活動法人 虹色の風

第2回「虹のアート展」の開催にあたって

東京都済生会中央病院は、1915年12月1日に済生会の2番目の病院としてこの港区に開設し、今年108周年を迎えました。明治天皇が「恵まれぬ人々のために医療救済による済生の道を広めるように」との済生勅諭に添えて、お手元金150万円を下賜され始まった本会は、現在でも「あらゆる人々へ医療・保健・福祉の手を差し伸べる」という理念のもとに活動しています。2019年に始まった新型コロナウイルス感染症によるパンデミックを経験し、私たちは医療を通して多くの命と向き合ったことで、より一層助け合い、そしてたくさんの人々と繋がって生きていくことの大切さを知ることができました。また、2020年より進めている当院の「ビジョン2024」では、これまで大切にしてきた理念をより一層推進するべく、地域社会の「つながり」を構築して、いかなる人も排除されない社会づくりをめざすというソーシャルインクルージョン活動を進めています。そのような中で、今回ご縁をいただいた、特定非営利活動法人「虹色の風」の皆さまのご協力のもと、2022年12月より「虹のアート展」を院内で開催しています。第2回の今回は「虹のアート展 2023 Spring 春風物語」というテーマで開催する運びとなりました。是非、多くの方々にお立ち寄りいただき、作品が持つエネルギーを感じていただければ幸いです。

東京都済生会中央病院 院長 海老原 全

ごあいさつ

「虹色の風」は障害のある人たちのアート活動と社会参加を応援するため2009年に設立された非営利活動法人です。これまで港区を中心にアート教室や色々なアート展の企画、実施、運営などを行ってきました。この度、開院当初より地域社会との「つながり」を大切にされてきた歴史ある東京都済生会中央病院様の「ソーシャルインクルージョン活動」に参加させていただけることを心から嬉しく思います。それは虹色の風がずっと模索してきた、地域社会の中で障害者が活躍するためにはどうすれば良いのか、充実した人生を送るためには何が必要なのかの答えを探る一つの希望でもあるからです。病院であり福祉の拠点でもある東京都済生会中央病院様の院内アート展はまさに夢の実現にまた一歩近づけたように感じています。今アート展のタイトルは「春風物語」春のひと時、作品の前にお立ち寄りいただきいただけたら幸いです。この貴重なアート空間をご提供いただきました東京都済生会中央病院院長 海老原 全 先生はじめ、関係者の皆様から心からお礼申し上げます。

特定非営利活動法人 虹色の風 平山 淳子

虹のアート展 2023 Spring 春風物語

2023
3/18-4/14

平日：9:00-17:00 第1・3土曜：9:00-12:00
日曜、祝日、第2・4土曜：お休み
東京都済生会中央病院 東京都港区三田1-4-17
〒108-8501 東京都港区三田1-4-17
多北館2F 健康情報コーナー

※お問い合わせ：TEL 03-3451-8086（受付時間：平日9:00-17:00、土曜9:00-12:00）※お問い合わせ先：東京都済生会中央病院 健康増進・特定非営利活動法人 虹色の風

虹のアート展（夏）

たった一枚の絵や
ささやかな飾りでも、
誰かが寄り添うことで、
世界を平和にできるかもしれません。
すべての命を繋ぐ虹になり、
皆さまの幸せと世界の平和を願います。
この小さなアート展が、
皆さまに豊かな時間と空間を
お届けできますように！

**虹の
アート展**

2023
7/21-8/18

平日：9:00-17:00 第1・3土曜：9:00-12:00
日曜、祝日、第2・4土曜：お休み（8月18日は18:00まで）
東京都済生会中央病院
東京都港区三田1-4-17
〒108-8501 東京都港区三田1-4-17
多北館2F 健康情報コーナー

BLUE

※感染防止対策のため、館内ではマスクの着用と手洗いをお願いします。
※お問い合わせ：TEL 03-3451-8086（受付時間：平日9:00-17:00、土曜9:00-12:00）※お問い合わせ先：東京都済生会中央病院 健康増進・特定非営利活動法人 虹色の風

第3回「虹のアート展」の開催にあたって

東京都済生会中央病院は、1915年12月1日に済生会の2番目の病院としてこの港区に開設し、今年108周年を迎えました。明治天皇が「恵まれぬ人々のために医療救済による済生の道を広めるように」との済生勅諭に添えて、お手元金150万円を下賜され始まった本会は、現在でも「あらゆる人々へ医療・保健・福祉の手を差し伸べる」という理念のもとに活動しています。当院が2020年より進めている「ビジョン2024」では、これまで大切にしてきた理念をより一層推進するべく、地域社会の「つながり」を構築して、いかなる人も排除されない社会づくりをめざすというソーシャルインクルージョン活動を進めています。この活動を通してご縁をいただいた、特定非営利活動法人「虹色の風」の皆さまのご協力のもと、2022年より院内で「虹のアート展」を開催しています。第3回となる今回は「虹のアート展 2023 Summer・Blue・ブルー」というテーマで開催する運びとなりました。これまでにご覧いただいた方々からも、感動やお褒めの言葉を多くいただいています。是非、多くの方々にお立ち寄りいただき、作品が持つエネルギーを感じていただければ幸いです。

東京都済生会中央病院 院長 海老原 全

ごあいさつ

「虹色の風」は障害のある人たちのアート活動と社会参加を応援するため2009年に設立された特定非営利活動法人です。これまで港区を中心にアート教室や色々なアート展の企画、実施、運営などを行ってきました。そして昨年12月より、開院当初から地域社会との「つながり」を大切にされてきた東京都済生会中央病院様の「ソーシャルインクルージョン活動」に参加させていただけています。これまで障害者が地域社会の中で活躍するためにはどうすれば良いのか、充実した人生を送るためには何が必要なのかをずっと模索してきました。その中で始まった病院でのアート展は一つの大きな希望になりました。この貴重なアート空間とアート展をこれからも大切に育てていきたいと思っています。

東京都済生会中央病院院長 海老原 全 先生はじめ、関係者の皆様から心から感謝いたします。

2023 Summer・Blue・ブルー

前回、アート展にお立ち寄りいただきました多くの方々から感想や応援の温かいメッセージをいただきました。皆様ありがとうございます。今回も是非で美しい作品を展示いたします。春、夏、秋、冬、たくさんの方の虹の光をほんのひととき楽しんでいただけたら幸いです。

特定非営利活動法人 虹色の風 平山 淳子

虹のアート展 2023 Summer・Blue・ブルー

2023
7/21-8/18

平日：9:00-17:00 第1・3土曜：9:00-12:00
日曜、祝日、第2・4土曜：お休み（8月18日は18:00まで）
東京都済生会中央病院
東京都港区三田1-4-17
〒108-8501 東京都港区三田1-4-17
多北館2F 健康情報コーナー

※感染防止対策のため、館内ではマスクの着用と手洗いをお願いします。
※お問い合わせ：TEL 03-3451-8086（受付時間：平日9:00-17:00、土曜9:00-12:00）※お問い合わせ先：東京都済生会中央病院 健康増進・特定非営利活動法人 虹色の風

虹のアート展 (秋)

「虹の風」は障害のある人たちのアート活動と社会参加を応援するため2009年に設立された特定非営利活動法人です。これまで港区を中心にアート教室の運営や色々なアート展の企画、実施などを行ってきました。そして、昨年12月より、開院当初から地域社会との「つながり」を大切にしていた東京都済生会中央病院様の「ソーシャルインクルージョン活動」に参加させていただいております。これまで障害者が地域社会の中で活躍するためにはどうすれば良いのか、充実した人生を送るためには何が必要なのかをずっと模索してきました。その中で始まった病院でのアート展は一つの大きな希望になりました。この貴重なアート空間とアート展をこれからも大切に育てていきたいと思っています。東京都済生会中央病院院長 海老原 全先生はじめ、関係者の皆様から感謝いたします。



2023
10/16-11/10

平日: 9:00-17:00 第1-3土曜: 9:00-12:00 最終日は16:00まで
日曜、祝日、第2-4土曜: お休み
東京都済生会中央病院
東京都港区三田1-4-17 トビ箱2F 観望館コート

*感染防止対策のため、病院内ではマスクの着用と手指消毒をお願いします。

第4回「虹のアート展」の開催にあたって

東京都済生会中央病院は、1915年12月1日に済生会の2番目の病院としてこの港区に開院し、今年108年目を迎えました。明治天皇が「恵まれない人々のために施業救済による済生の道を広めるように」との済生勅諭に添えて、お手元金150万円を下落された本会は、現在でも「あらゆる人々へ医療・保健・福祉の手を差し伸べる」という理念のもとに活動しています。当院が2020年より進めている「ビジョン2024」では、これまで大切にしてきた理念をより一層推進するべく、地域社会の「つながり」を構築して、いかなる人も排除されない社会づくりをめざすというソーシャルインクルージョン活動を進めています。この活動を通してご縁をいただいた、特定非営利活動法人「虹色の風」の皆さまのご協力のもと、2022年より院内で「虹のアート展」を開催しています。第4回となる今回は「虹のアート展 2023Autumn- 秋日和」というテーマで開催する運びとなりました。これまでにご来場いただいた方々からも、感動やお褒めの言葉を多くいただいております。是非、多くの方々に立ち寄りいただき、作品が持つエネルギーを感じていただければ幸いです。

東京都済生会中央病院 院長 海老原 全

2023 AUTUMN

ごあいさつ

「虹色の風」は障害のある人たちのアート活動と社会参加を応援するため2009年に設立された特定非営利活動法人です。これまで港区を中心にアート教室の運営や色々なアート展の企画、実施などを行ってきました。そして、昨年12月より、開院当初から地域社会との「つながり」を大切にしていた東京都済生会中央病院様の「ソーシャルインクルージョン活動」に参加させていただいております。これまで障害者が地域社会の中で活躍するためにはどうすれば良いのか、充実した人生を送るためには何が必要なのかをずっと模索してきました。その中で始まった病院でのアート展は一つの大きな希望になりました。この貴重なアート空間とアート展をこれからも大切に育てていきたいと思っています。東京都済生会中央病院院長 海老原全先生はじめ、関係者の皆様から感謝いたします。

2023 Autumn- 秋日和

暑かった今年の夏も終わり、豊かな秋がやってきました。今回のアート展でも、さきり陽りをはじめ、たくさん秋の秋の色を集めましたので、ぜひ立ち寄りいただければ幸いです。

特定非営利活動法人 虹色の風 平山 淳子

秋日和

2023 10/16-11/10 虹のアート展

平日: 9:00-17:00 第1-3土曜: 9:00-12:00 最終日は16:00まで
日曜、祝日、第2-4土曜: お休み
東京都済生会中央病院
東京都港区三田1-4-17 トビ箱2F 観望館コート



*感染防止対策のため、病院内ではマスクの着用と手指消毒をお願いします。

※お問い合わせ: Tel. 03-3451-8000 東京都済生会中央病院 広報課 ※展示: 東京都済生会中央病院 観望館2F 特定非営利活動法人 虹色の風

虹のアート展 (冬)



2024 1/15-2/9

平日: 9:00-17:00 第1-3土曜: 9:00-12:00 最終日は16:00まで
日曜、祝日、第2-4土曜: お休み
東京都済生会中央病院
東京都港区三田1-4-17 トビ箱2F 観望館コート

*感染防止対策のため、病院内ではマスクの着用と手指消毒をお願いします。

※お問い合わせ: Tel. 03-3451-8000 東京都済生会中央病院 広報課 ※展示: 東京都済生会中央病院 観望館2F 特定非営利活動法人 虹色の風

第5回「虹のアート展 2024 Winter- 冬日向ふゆひなた」の開催にあたって

東京都済生会中央病院は、1915年12月1日に済生会の2番目の病院としてこの港区に開院し、今年109年目を迎えました。明治天皇が「恵まれない人々のために施業救済による済生の道を広めるように」との済生勅諭に添えて、お手元金150万円を下落された本会は、現在でも「あらゆる人々へ医療・保健・福祉の手を差し伸べる」という理念のもとに活動しています。当院が2020年より進めている「ビジョン2024」では、これまで大切にしてきた理念をより一層推進するべく、地域社会の「つながり」を構築して、いかなる人も排除されない社会づくりをめざすというソーシャルインクルージョン活動を進めています。この活動を通してご縁をいただいた、特定非営利活動法人「虹色の風」の皆さまの院前により、第5回となる今回は、「虹のアート展 2024 Winter- 冬日向ふゆひなた」というテーマで開催する運びとなりました。国を兼ねるにつれ、秋田県に生まれながらに育ち、冬も過ごしてきており、大変ありがたいです。今回も多くの皆様は足を運んでいただき、心あたたまるひと時を過ごしていただければ幸いです。

皆様、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

東京都済生会中央病院 院長 海老原 全

2024 WINTER

ごあいさつ

「虹色の風」は障害のある人たちのアート活動と社会参加を応援するため2009年に設立された特定非営利活動法人です。これまで港区を中心にアート教室の運営や色々なアート展の企画、実施などを行ってきました。そして、2022年12月より、開院当初から地域社会との「つながり」を大切にしていた東京都済生会中央病院様の「ソーシャルインクルージョン活動」に参加させていただいております。これまで障害者が地域社会の中で活躍するためにはどうすれば良いのか、充実した人生を送るためには何が必要なのかをずっと模索してきました。その中で始まった病院でのアート展は一つの大きな希望になりました。この貴重なアート空間とアート展を、これからも大切に育てていきたいと思っています。何卒よろしくお願いいたします。東京都済生会中央病院院長 海老原全先生はじめ、関係者の皆様から感謝いたします。

2024 Winter- 冬日向ふゆひなた

太陽の日差しが弱く、寒さが一段と厳しい冬の陽だまり... それを冬日向というそうです。これからも「虹のアート展」は四季にあわせ、暖かくやさしいメッセージをアートでお届けしたいと思っています。どうぞ皆様、本年もお立ち寄りくださいますようよろしくお願いいたします。

特定非営利活動法人 虹色の風 平山 淳子

冬日向

2024 1/15-2/9 虹のアート展

平日: 9:00-17:00 第1-3土曜: 9:00-12:00 最終日は16:00まで
日曜、祝日、第2-4土曜: お休み
東京都済生会中央病院
東京都港区三田1-4-17 トビ箱2F 観望館コート



*感染防止対策のため、病院内ではマスクの着用と手指消毒をお願いします。

※お問い合わせ: Tel. 03-3451-8000 東京都済生会中央病院 広報課 ※展示: 東京都済生会中央病院 観望館2F 特定非営利活動法人 虹色の風

NaviLens (ナビレンス)



視覚障害者に力を

視覚障害者は従来の標識を認識しづらいため、経験のない環境下での自立的行動は制限されてしまいます。

ナビレンスのタグはそれがどこに設置されているか正確に知る必要はありません。

スマートフォンのカメラでスキャンするだけで、読み取ったタグに含まれている必要な情報が得られます。

<https://www.navilens.com/ja/>
NaviLens HPより



NaviLens

ナビレンスアプリを使って、このタグをスキャンしてみてください ▲

ナビレンスとは？

スペイン発祥の移動支援アプリで、各所に貼られているアクセシブルなナビレンスコードを読み込むことで、目的地の内容・方向・距離などの案内が表示されるとともに音声で読み上げます。海外では施設内の移動支援だけでなく、バスや電車の乗り場案内や時刻案内なども行われています。「ナビレンス」を使うことで、視覚障害者が一人で移動する際の不安を和らげることができれば、より行動的になって視覚障害者の世界が広がります。そういったお手伝いをするアプリとなっています。

※「ナビレンス」は不安を和らげるためのアプリであり、障害物や突発的な出来事などは検出できません。白杖や盲導犬などを利用して、ご自身の安全に十分ご注意ください。



TOKYO SAISEIKAI CENTRAL HOSPITAL All Rights Reserved

新たなソーシャルインクルージョン事業について



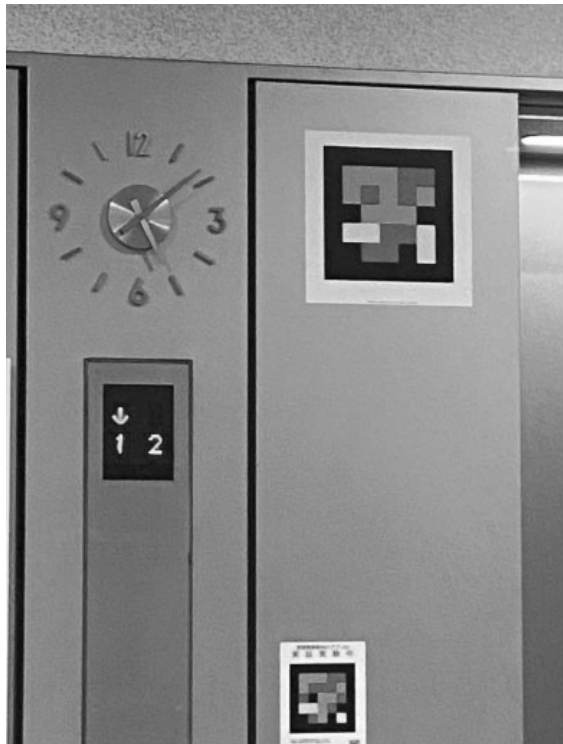
当院は港区三田に位置し、高度急性期総合病院として地域医療に貢献しています。その事業の一つとしてソーシャルインクルージョン事業があり、近年、障害者の方の人権擁護に対する意識を高め、院内での障害者アート展開催などを展開しています。

今回の最先端アプリの導入は、かかりつけ患者さんからのご意見を基に、視覚障害者や聴覚障害者が安心・安全に受診し易い環境を整備することを目的としています。お手洗いやエレベーターなど公共性の高い設備への誘導はもとより、院内掲示サインの多言語化にもこのアプリで対応していく予定です。また、診療以外でも当院の施設が障害者の方にとって利用しやすい空間となるよう、今後も検討していきたいと考えています。また、当院の導入を契機に多くの公共施設や医療機関への導入が検討されることを願っています。



TOKYO SAISEIKAI CENTRAL HOSPITAL All Rights Reserved

都営大江戸線春日駅における実証



5:10

4G

コードを読み込むために、カメラをコードに向けてください。

#219573 25秒
このタグの左側に操作ボタンがあります。真ん中を触ると反応するのでご注意ください。

#219572 32秒
2基のエレベーターが並んでいます。...

#219571 2分
2階の戸籍住民課へは右のエレベーター...

#21956E 3分
正面に上りエスカレーター、その左側...

#21956C 3分
地下二階、文京シビックセンターかす...

#21956F 3分
このタグの左側への誤侵入にご注意く...

ja_3.6.3(1)



タグの設置箇所



- ①駅看板 (改札出て左側) ②病院前看板 (表) ③病院前看 (裏)
- ④商業施設側入口ドア ⑤正面玄関 ⑥タクシー乗り場 ⑦時間外入口
- ⑧時間外入口用インターホン ⑨総合受付 ⑩患者支援センター入口
- ⑪外来棟エレベーター ⑫マルチトイレ (商業エリア側)
- ⑬トイレ (商業エリア側) ⑭車椅子用トイレ (商業エリア側)
- ⑮北棟エレベーター ⑯主棟エレベーター
- ⑰外来棟エレベーター (待合室側)
- ⑱外来棟エレベーター (トイレ側)
- ⑲男性用トイレ (主棟エレベーター横)
- ⑳女性用トイレ (主棟エレベーター横)
- ㉑マルチトイレ (主棟エレベーター横)
- ㉒男性用トイレ (外来棟エレベーター側)
- ㉓女性用トイレ (外来棟エレベーター側)
- ㉔車椅子トイレ (外来棟エレベーター側)
- ㉕総合案内 ㉖出口

- ㉗2階インフォメーション
- ㉘2階眼科受付



都営大江戸線「赤羽橋駅」



TOKYO SAISEIKAI CENTRAL HOSPITAL All Rights Reserved

NaviLens（ナビレンス）の導入について

社会福祉法人恩賜財団済生会支部東京都済生会 東京都済生会中央病院 株式会社メジャメント 総合病院カテゴリで世界初、東京都済生会中央病院に「ナビレンス」が導入されました。総合病院カテゴリでは「世界初」となります。

今回の導入にあたって 東京都済生会中央病院には診療分野以外で国内初の医療機関内店舗の UNIQLO やドトールコーヒー、セブンイレブン、銀座スエヒロがあります。患者さん以外にも地域住民の方や働いている方など、どなたでもご利用いただけます。その中で『ナビレンス』ご利用いただき 視覚障害者の方が安心して当院にお越し頂ける一つの契機になればという想いから導入いたしました。今後もいろいろな角度から『新しい病院のカタチ』を皆さまに提供していきたいと考えています。



海老原院長と病院スタッフ(病院前)



TOKYO SAISEIKAI CENTRAL HOSPITAL All Rights Reserved

NaviLens（ナビレンス）の導入実績

■医療施設

- ・ 東京都済生会中央病院（東京都）
- ・ 神戸アイセンター（兵庫県）

- ・ スペイン・サンタクルス・デ・テネリフェー帯の薬局
- ・ スペイン・コルドバー帯の薬局

■美術館・博物館

- ・ スペイン・ジェクラ考古学博物館
- ・ スペイン・フリオロメロデトレス美術館
- ・ スペイン・カルタヘナローマ劇場博物館
- ・ オランダ・NEMO科学技術博物館
- ・ 日本・クレマチスの丘（静岡県）
- ・ 日本・九州国立博物館（福岡県）など

■観光地・観光情報

- ・ スペイン・アリカンテ（ビーチのコンディション、混雑情報など）
- ・ スペイン・ムルシア（街中の道路標識全て、歴史的施設など）

その他

ショッピングセンター、タクシー、観光案内所と連携



TOKYO SAISEIKAI CENTRAL HOSPITAL All Rights Reserved

NaviLens (ナビレンス) の今後について

ナビレンスの特徴は、その汎用性の高さにあると認識しています。タグごとに設定する文字情報は管理者側で自由に変更が可能です。

例えば「今日は休診です」など、日によって変わる情報にも対応可能です。そのほか、使用端末の設定言語に合わせて自動で翻訳（57か国語）したり、手話動画を流したりすることもできるものとなっています。

こうした機能を活用することで、障害者の方や健常者の方、外国人の方など多くの方が使えるツールとして、また病院の情報発信方法としての可能性が広がります。

導入する施設が増え、ナビレンスの存在がもっと知られるようになっていけば、設置も利用もより気軽にできるようになっていくのではないのでしょうか。



TOKYO SAISEIKAI CENTRAL HOSPITAL All Rights Reserved

NaviLens (ナビレンス) の今後について

The screenshot displays the NaviLens management interface. At the top, there's a header with the NaviLens logo, a welcome message for Tokyo Saiseikai Central Hospital, and navigation links for NAVILENS CODES, WELCOME MESSAGE, and CONTENTS. A notification bar indicates 'Password reset successfully'. Below this, a 'Tags (30)' section shows a grid of 9 tags, each with a QR code, a title, a NaviLens ID, a NaviLens GO version, and a size of 200 mm. The tags are: 01_Station (NaviLens 55, GO 4), 02_Signboard_Front (NaviLens 38, GO 2), 03_Signboard_Back (NaviLens 38, GO 3), 04_Entrance (NaviLens 35, GO 3), 05_MainEntrance (NaviLens 28, GO 3), 06_TaxiStop (NaviLens 38, GO 3), 07_Entrance (NaviLens 11, GO 2), 08_Intercom (NaviLens 14, GO 0), and 09_Information (NaviLens 48, GO 2). To the right, the 'Tags edition' panel is open, showing tabs for General, NaviLens App, NaviLens GO App, Visual Guide, Functional diversity, and Others. The 'General' tab is active, displaying 'Classification' (Audible information for NaviLens App), 'Short text' (Minimum description of the place or object where the NaviLens code is placed), and 'NaviLens detail text' (Templates, Dynamic texts, Angles). The 'Short text' field contains '東京聖済生会中央病院'. The 'NaviLens detail text' field contains a detailed description of the location and elevator usage. At the bottom, there's an 'Invisibility code' section with a slider set to 10 and an 'Update' button.

ユニクロ 済生会中央 病院店



ユニクロは2022年3月16日（水）、東京都済生会中央病院（東京都港区）1階に「ユニクロ 済生会中央 病院店」をオープンします。医療施設内に、ユニクロが出店するのは初めてです。

この店舗は、来院された方や入院中の患者様、医療従事者の方々に、必要な服を、必要な時にお届けすることを目指します。ユニクロオンラインストアの「店舗受取りサービス」などをご利用いただくと、店舗にない商品も含めたフルラインナップから、必要な商品をお買い求めいただけます。



TOKYO SAISEIKAI CENTRAL HOSPITAL All Rights Reserved